



# Microsoft Teamsの導入により DXC Technologyのワークプレイスを革新

DXC Technology社内事例

地域: オーストラリアおよびニュージーランド

## 課題

- 従来のメールを基本としたワークフローは最適ではなく、1日あたりのメッセージが多量なことで作業や情報の優先順位付けが困難
- メールのスレッドにより会話が小さなグループに分断されることが多く、真に創造的なチームワークの機会を喪失
- 他の利害関係者に適用できるナレッジの取得、共有、再利用の基盤の構築

## ソリューション

- Office 365の一部であるMicrosoft Teamsがすべてを共有ワークスペースに集約
- Word、Excel、PowerPoint、SharePointなどの組み込みのOffice 365アプリケーションでの共同作業機能
- Microsoft 365が提供するエンドツーエンドのセキュリティ、管理者向けコントロール、コンプライアンス

## 成果

- 従業員の俊敏性と創造性が向上するとともに、集団としての効率性が大幅に向上
- ドキュメント、スプレッドシート、スライドをTeamsのインターフェイスから直接、リアルタイムでの同時編集を実現
- 世界中の従業員がチャット、会議、ファイル共有、ビジネスアプリケーションでの作業が行えるようになり、オンラインでの会議、通話、プレゼンテーションによる極めて効果的なコミュニケーションを実現

世界をリードするエンドツーエンドのITサービス企業であるDXC Technologyは、スマートで創造的なソリューションを提供し続けることで、常に業界の最先端に行くことが求められています。そのためには、DXCを技術的に牽引するソートリーダー（思想的リーダー）たち、特にDXCオーストラリアおよびニュージーランドの最高技術責任者、ダニエル・ビオンディが率いるチーフテクノロジスト（CT）チームの集団的パワーの活用が必要です。

DXCのCTは、それぞれ特定の地域、業界、またはテクノロジーを担当しながら、連携によってお客様に最高の成果を提供することを目指しており、コラボレーションは極めて重要です。新たなテクノロジーの最初の導入者として、CTたちはビジネスの課題に対するアイデアやソリューションをよりすばやく生み出すためのイノベーションを常に探しています。

「お客様のニーズへの理解を深め、お客様との関係構築と価値創造を推進するために、私たちは特定の業界や主要領域を担当しています。」と、オーストラリアおよびニュージーランド地域のDXCのデジタル、モビリティ、およびワークプレイス担当CTであるロドニー・ホプスは述べています。「私たちは協力して、他の利害関係者に適用できるナレッジの取得、共有、再利用のための基盤を構築しなければなりません。」

DXCは、民間企業・公共セクターを含む世界70カ国に6,000以上のお客様と約13万人の従業員を抱える企業です。DXCのテクノロジーリーダーは、活動に優先順位を付け、効率的に作業しなければならず、従業員の創造性を発揮させてコラボレーションを促進するためのあらゆる機能を備えたインテリジェントなソリューションであるMicrosoft 365を展開することで大きな進歩を遂げました。Microsoft 365には、Office 365、Enterprise Mobility + Security、Windows 10 Enterpriseが含まれています。

しかしながらオーストラリアとニュージーランドのCTOチームにとって、従来のメールを基本としたワークフローは最適ではありませんでした。同一のトピックに関してスレッドが複数に別れたり、重要な資料へのリンクが長い会話に埋もれたり、1日あたり数百のメッセージがあることで作業や情報の優先順位付けが困難になるなど、CTOチームはメールでコラボレーションを管理するのは難しいと感じていました。さらに、メールのスレッドにより会話の小さなグループに分断されることが多く、真に創造的なチームワークの機会が失われていました。

## コラボレーションを急加速するきっかけ

TeamsがOffice 365に加わったとき、DXCはこうした課題を解決し、俊敏性と創造性を高め、集団としての効率性を大幅に向上させるチャンスだと考えました。Teamsは、すべてを共有ワークスペースに集約し、そのワークスペースで世界中のDXCの従業員がチャット、会議、ファイル共有、ビジネスアプリケーションでの作業を行うことを可能にします。従業員は、オンラインでの会議、通話、プレゼンテーションにより、極めて効果的にコミュニケーションをとることができます。また、共有されたファイルに対して、Word、Excel、PowerPoint、SharePointなどの組み込みのOffice 365アプリケーションで共同作業が可能です。すべてのアクティビティに対して、Microsoft 365が提供するエンドツーエンドのセキュリティ、管理者向けコントロール、コンプライアンスなどの機能が適用されています。

ターニングポイントとなったのは、DXC CTOチームが実際に集合して行った計画ワークショップでした。「チームではさまざまな取り組みについて話し合っていました。」とホプスは回想します。「私がおその場の会話に基づいた仕組みをTeams内に作ると、すぐにグループはそのワークスペースを使い始めました。他のメンバーも即座に参加し、そこから急速にTeamsが普及しました。」

## 容易な導入

ワークプレイス変革の専門家として、ホップスは特にTeamsの使いやすさを評価しています。「組織は、何をすべきかを考えるのに時間を費やしすぎた結果、実際に行動に移すことなく終わることがあります。」と彼は指摘します。Teamsの直感的な操作性により、DXCの従業員はすぐにTeamsの利用を開始し、必要に応じて新しい機能を習得することができるため、すばやい導入と価値の実現につながっています。

従業員は、有機的な導入により使いながら必要な機能を見つけることができ、ヘルプボットと情報の統合により業務の遂行とお客様への効果的なサービス提供に集中することができます。

## 創造と共有のための単一の場所

DXC CTOチームは、創造、共有、利用に必要なすべての機能に単一のインターフェースを通してアクセス可能であることの利点をすぐに見出しました。「チームのドキュメントフォルダにシームレスにアクセスできるため、生産性が向上しています。」とホップスは言います。「Teamsの強力な検索機能を利用して、従業員はOneDriveやSharePointの中も含め、必要なときに必要な人や情報を見つけることができます。また、ドキュメント、スプレッドシート、スライドをTeamsのインターフェイスから直接、リアルタイムで同時に編集できます。」

DXC CTOチームが生み出す価値の多くは画期的なアイデアの中にあり、それを引き出すには創造的なコラボレーションが必要です。会話が断片化されるメールと異なり、Teamsでのタグ付けはユーザーをひとつの会話に引き込みます。また、常にグループチャットの履歴が表示されるため、すぐに追いついて投稿に参加できます。





## 場所を問わずに卓越した効率性を発揮

DXC CTに対する需要は高まっており、ホップスはDXCのオフィスや取引先、業界のイベントなどを行き来し、出張先で多くの時間を過ごしています。「私の電話はコンピューターでもありません。」とホップスは言います。「私はこれに頼りきっていて、Teamsは頼れるソリューションです。」

Teamsの優れたモバイル対応機能は、常に出張で飛び回っているDXCの従業員にとって重要です。使用するデバイスや場所に関係なく、数千人の従業員が毎日Teamsを利用してチャット、電話、会議、共同作業、調査を行っています。信頼性の高い高品質の音声・ビデオ会議により、いつでも自信を持ってお客様や同僚に接続できます。

CTOチームの役割は、DXCのお客様のための価値を創造し、協力しあい、他の多くの活動に影響を与えることです。サイロ化されたアプリケーションで個別に作業をするのではなく、あらゆる場所にいる人々がTeamsを通して1つの場所で、創造的に共同作業をすることが可能です。知識の共有から、ソートリーダーシップ情報の展開、販売提案の推進までを実現するための単一の場所があります。さらに、CTOチームのPerformance Power BIダッシュボードをTeams環境に統合して、さまざまなメトリクスやKPIの知見を即座に得られるようにもしました。「仕事の質とスピードを上げるために、Teamsのあらゆる機能を活用しています。」とホップスは言います。

## エクスペリエンスの力

ホップスは、ワークプレイスエクスペリエンスのソートリーダーとして、人々が生産性の向上とやりがいを見つけ出すためのソリューションを常に探しています。「データが企業の新しい通貨であるように、エクスペリエンスも従業員の新しい通貨であると私は確信しています。」さまざまな世代の従業員が肩を並べて働く状況や、ギグエコノミー、仕事の性質の変化など、非常に多くの力が創造的破壊を引き起こすなか、DXCは組織の内外で共同作業する従業員を強力にサポートする必要があります。

適切なテクノロジーは重要な要素であり、CTOチームはTeamsを活用してその瞬間に最も重要なものを明らかにして取り組み、変化するニーズにより迅速に対応します。ホップスは次のように結論付けています。「Teamsは生産性とコラボレーションをさまざまな側面にわたって支援する機能(会議、音声、チャット、ドキュメント、共同作成ワークスペースを1つのエクスペリエンスで提供)を提供しています。DXCの最先端のデジタルワークプレイスの重要な根幹を成すものです。」

### DXC Technologyについて

DXC Technology (NYSE:DXC)は、最新のIT環境への刷新、データアーキテクチャの最適化、パブリック・プライベート・ハイブリッドクラウド全体に渡るスケーラビリティとセキュリティを実現しながら、ミッションクリティカルなシステムを支え、グローバルに広がるお客様のビジネスをご支援します。数十年に渡りイノベーションを推進してきた実績と共に、DXCはエンタープライズテクノロジースタックを展開し、競争力や業務パフォーマンス、顧客体験価値のさらなる向上といった課題に挑む世界大手企業のお客様の信頼を獲得しています。DXCのストーリーやお客様、従業員、業務に関する取り組みについて、詳しくは[www.dxc.technology](http://www.dxc.technology)をご覧ください。日本におけるDXC Technology についての詳細は[www.dxc.technology/jp](http://www.dxc.technology/jp)をご覧ください。